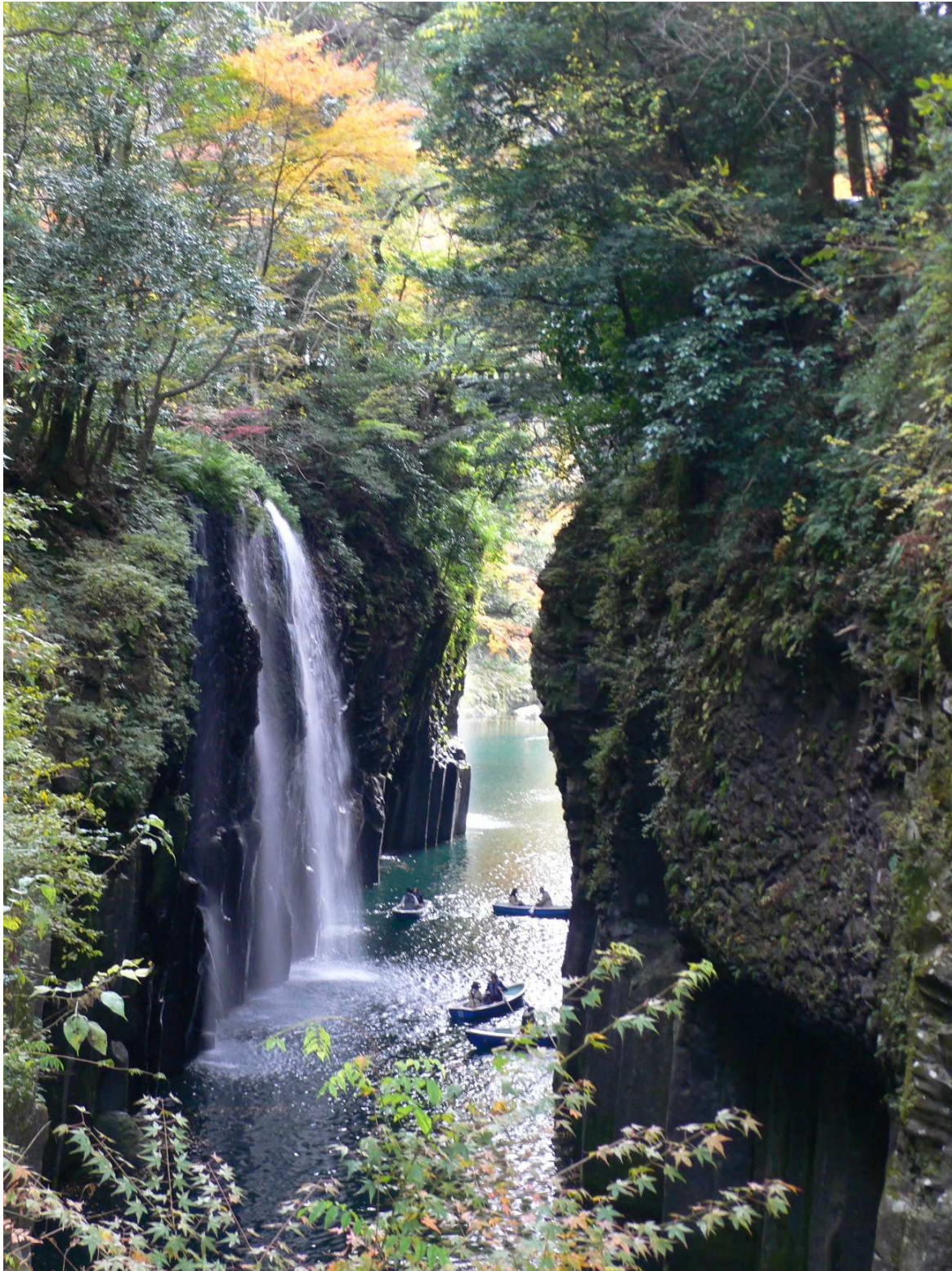


今月の一枚

高千穂峽



2012年の秋、JTB「A列車で行こう」「海幸山幸」で巡る九州周遊の旅をした際、訪れた高千穂峽の風景に魅了された。高千穂峽は余りにも有名な観光スポットではあるが、これまでの南九州を旅することがあっても、日本の神話の故里である高千穂にまでは行くことはなかった。生涯に一度は訪れたいと思い、上記のプランに参加することにした。高千穂峽は阿蘇カルデラを作った12万年前と9万年前の2回の火山活動によって、火砕流が五ヶ瀬川の峡谷沿いに堆積し、溶結凝灰岩となり、柱状節理が生じ、五ヶ瀬川の浸食によって生じたV字峡谷で、高さは80~100mの断崖が7kmにわたり続いている。とくに、川幅が狭まったところに流れ落ちる滝が日本の滝百選の一つ「真名井の滝」は落差17mであるが、このビューポイントに立つと滝底に引き込まれるような神秘的な絶景をみることができる。



村田 高明

(S35年 医学部)

【西東京三田会写真・作品倶楽部】今年は11月11(火)~16(日)柳沢公民館ロビーをお借りして展覧会を開催致します。

H25年度の出典作品を1月から10月まで会員や招待者の誌上作品展覧会を行っています。

9月号で今年度の写真作品展出品要綱をご案内いたします。旅行での思いがけないショット！狙って撮ったショット！絵画など、展示できる作品、新規も含め多くの皆さまからの応募をお待ちいたします。

事務局：大平 一 連絡先：yakimono_1@jcom.home.ne.jp